



2008年3月期 決算説明会

2008年5月30日
ディービーエックス株式会社
(証券コード:3079 JASDAQ)



I

会社概要

p.2

II

決算(実績と予想)

p.12

III

医療機器販売業界の変化と対応

p.20

I

会社概要

II

決算(実績と予想)

III

医療機器販売業界の変化と対応

会社プロフィール

- 社 名 ディービーエックス株式会社 (DVx Inc.)
- 所 在 地 東京都豊島区高田二丁目17番22号
- 代 表 者 代表取締役社長 若林 誠
- 営 業 拠 点 国内9ヶ所 (2008.5.12に九州営業所を新設)
- 従 業 員 数 131名 (2008年3月末現在)

沿革

- 1986年 心臓ペースメーカー販売とフォローアップ業務を目的として、**(株)ヘルツ**を設立
- 1992年 不整脈分野の商品「**心臓電気生理検査用機器**」の輸入販売を開始
- 1997年 自社商品拡大のため医療機器輸入会社(有)シー・エム・アイジャパンを子会社化
(株式会社に改組後、ディービーエックスジャパン(株)に商号変更)
- 2000年 虚血分野の商品「**自動造影剤注入装置**」の輸入販売を開始
- 2004年 ディービーエックスジャパン(株)を吸収合併
(株)ヘルツから**ディービーエックス(株)**に商号変更
- 2007年 ジャスダック証券取引所に**株式上場**
東北営業所・群馬営業所・八王子営業所を開設。**全国8拠点体制**を構築。

当社の特色

“循環器分野”に特化した医療機器販売会社

不整脈事業

電極カテーテル
(心臓電気生理検査用)



電極カテーテル
(アブレーション用)



ICD
(植込み型自動除細動器)



心臓ペースメーカー



虚血事業

自動造影剤注入装置
「ACIST」



エキシマレーザ
血管形成システム



PTCAカテーテル



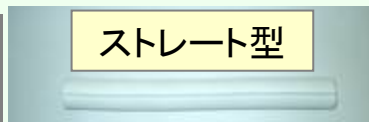
研究開発中

人工血管

Y字型

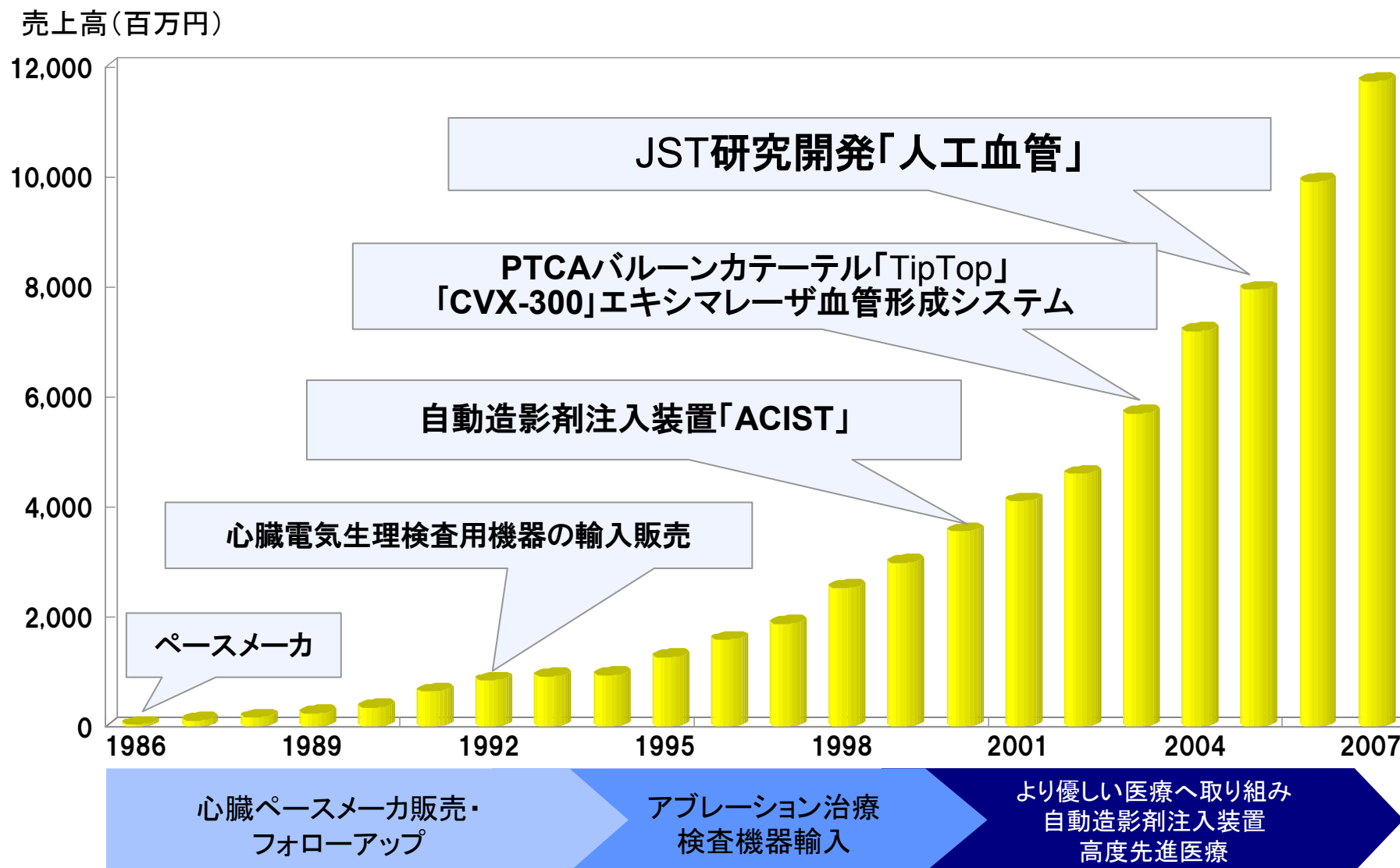


ストレート型



当社の強み

ニーズを先取りして、高付加価値サービスを開拓

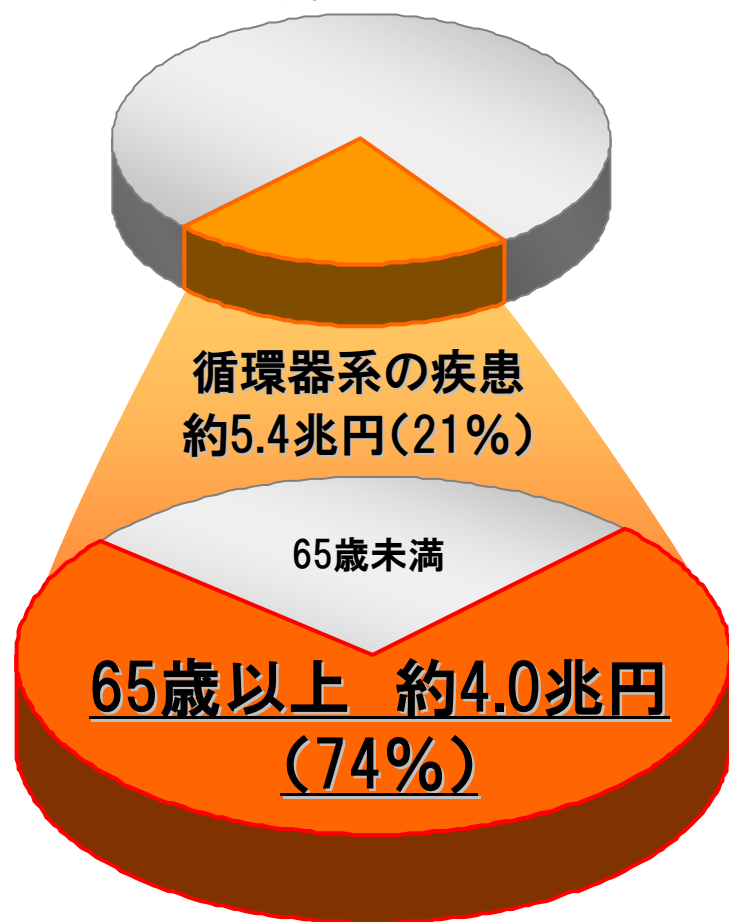


循環器分野の特徴

循環器分野は巨大な成長市場

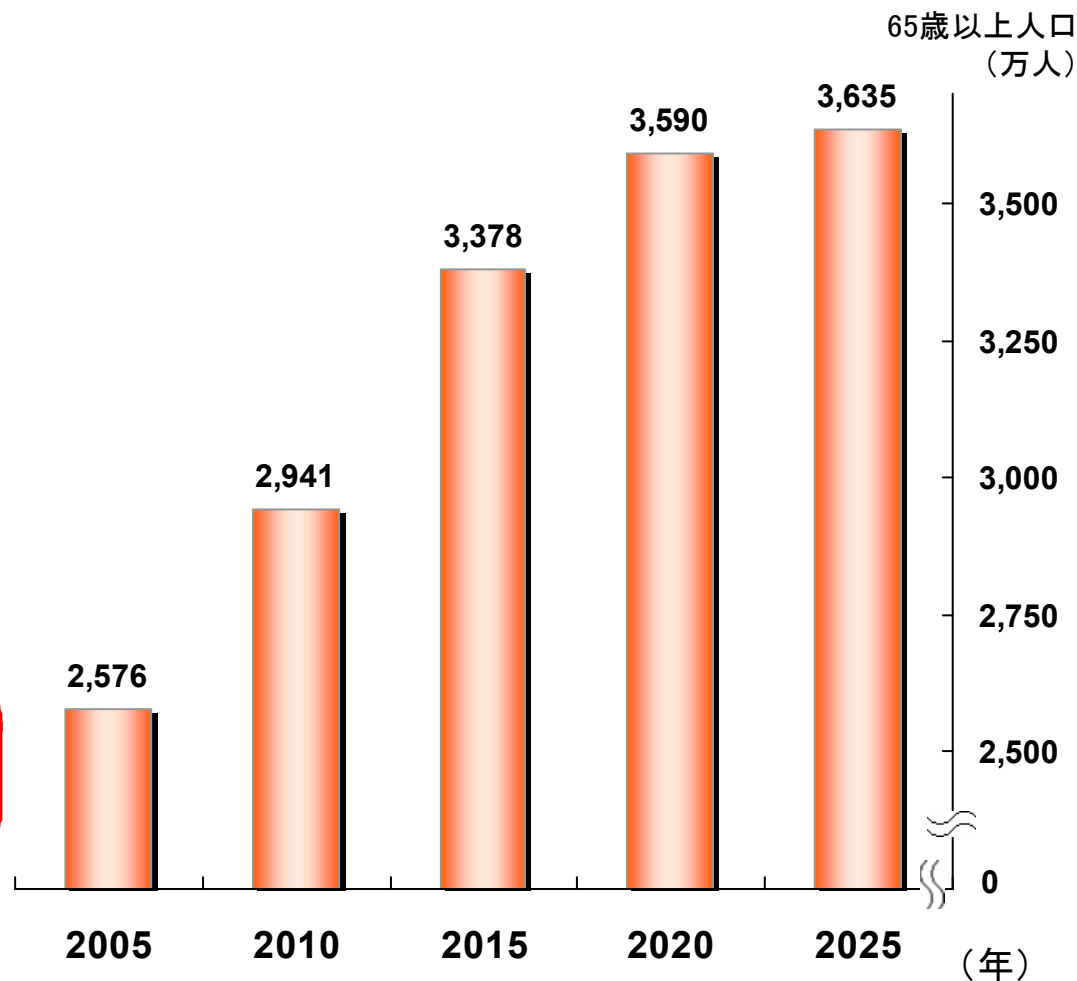
循環器系の疾患の「特徴」

国民医療費:推計約25兆円



資料:厚生労働省「国民医療費の概況」(2005年度)

65歳以上の将来推計人口

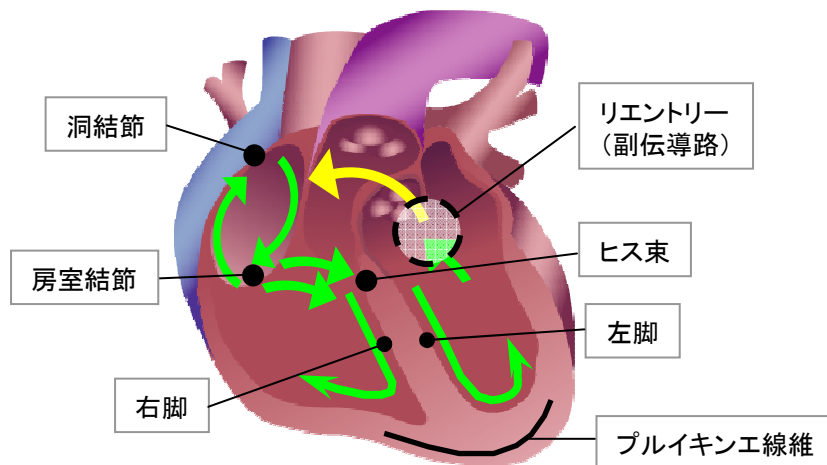


資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2006年12月推計)
出生中位(死亡中位)推計を使用。

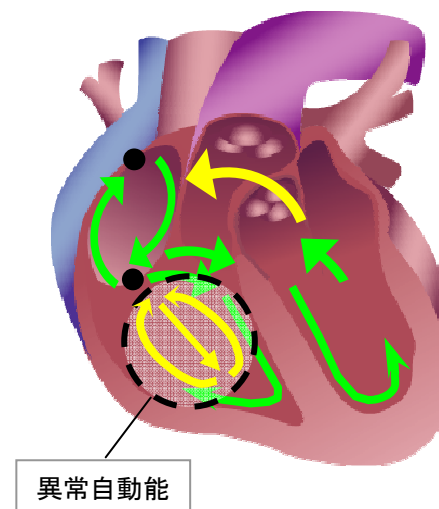
(ご参考)頻脈の根治療法「心筋焼灼術(アブレーション)」

■ 頻脈のメカニズム

例1. リエントリーによる頻脈



例2. 異常自動能による頻脈

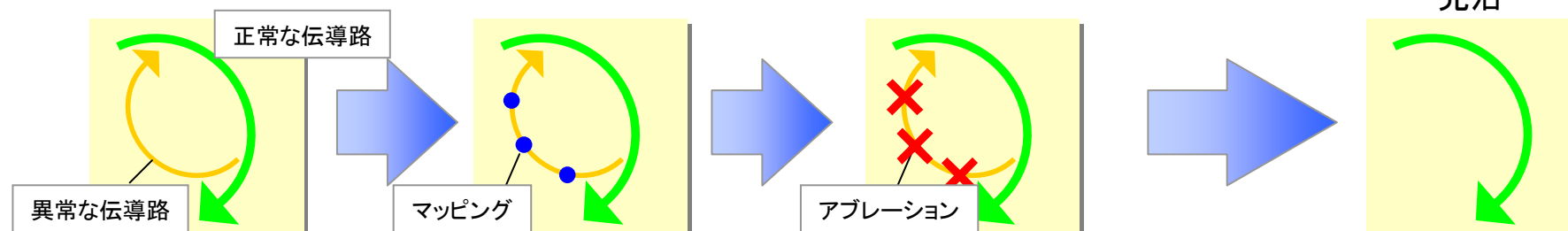


■ 心筋焼灼術(アブレーション治療)の手順

電気生理検査による
異常部位の特定

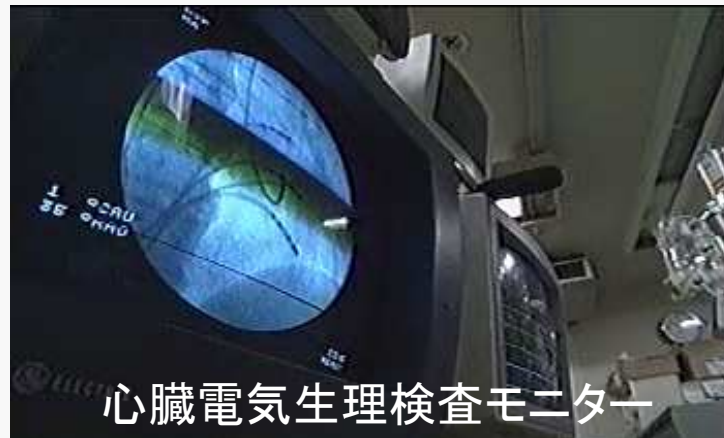
焼灼部位の特定

高周波エネルギーを通電、
異常部位を焼灼



当社商品の活用：電極カテーテル、ICD

心臓電気生理検査



アブレーション治療



さらに

ICDの植込みによる治療



当社商品の活用:「ACIST」・「ACIST専用キット」

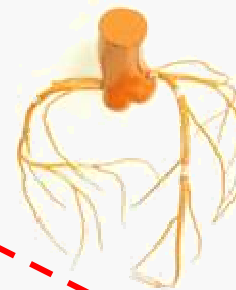
患者に優しく、血管の狭窄・閉塞の正確な診断に貢献



ACISTを使った検査



心臓血管の
イメージ図



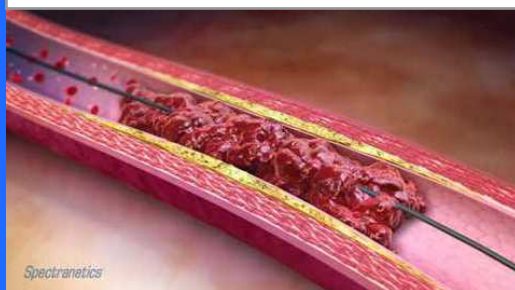
「ACIST」による血管造影



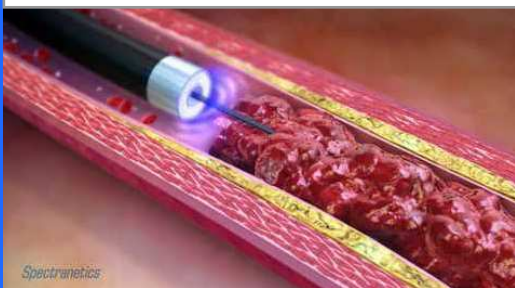
当社商品の活用:「エキシマレーザー血管形成システム」

再狭窄対処、ペーシングリード抜去、末梢血管形成が可能な新医療デバイス

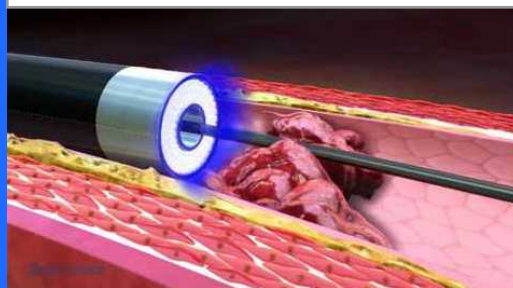
病変部へガイドワイヤーを通す



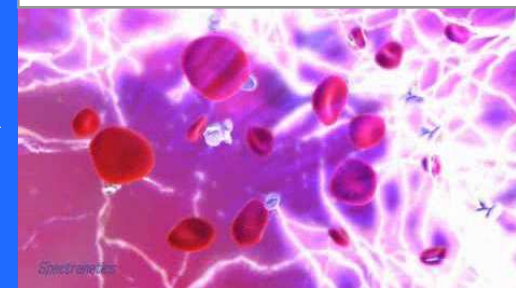
レーザーカテーテルを入れる



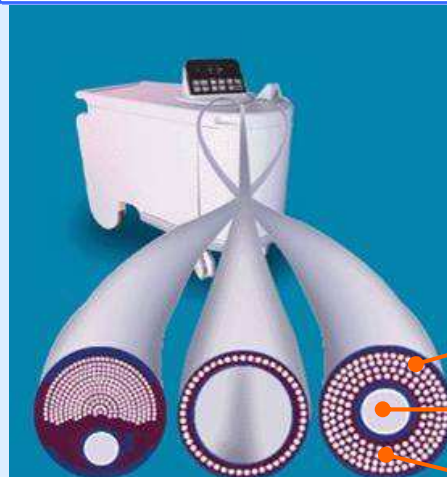
病変部へレーザーを照射



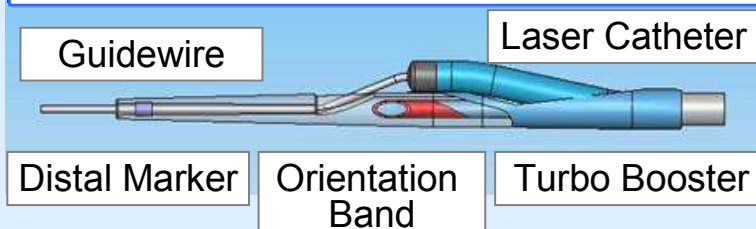
病変部が蒸散



エキシマレーザー概観



2-2. Turbo Booster



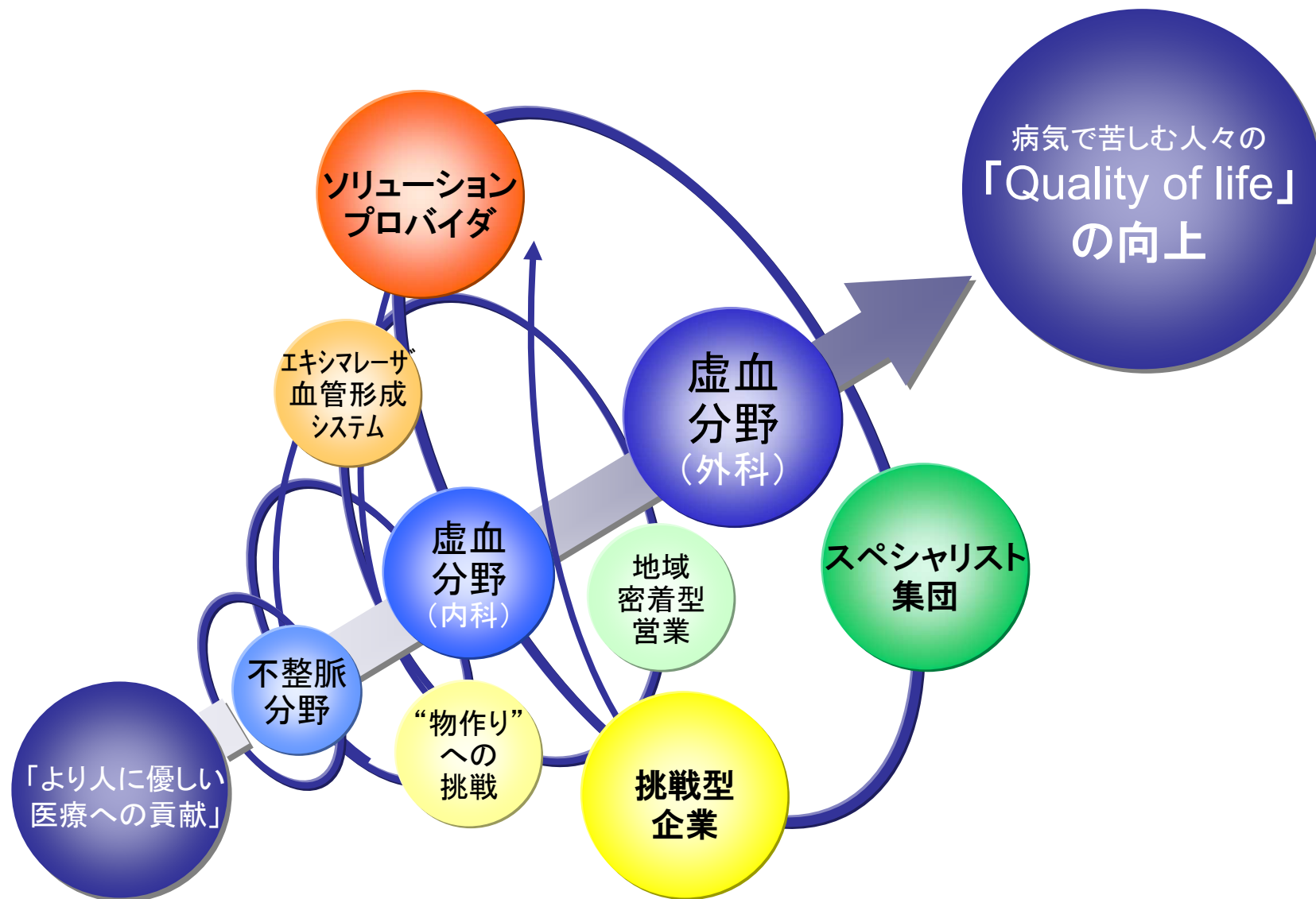
X線不透過ライン

ガイドワイヤールーメン

光ファイバ

循環器専門に発展を目指す“スペシャリスト集団”

医療現場に携わる企業としての使命を果たし、企業発展を実現



I 会社概要

II 決算(実績と予想)

III 医療機器販売業界の変化と対応

08/3期 IRトピックス

- 2007年4月 ジャスダック証券取引所に**株式上場**。
- 5月 2007年3月期決算を**発表**。
「上場記念配当に関するお知らせ」「東北営業所開設のお知らせ」を発表。
- 8月 「営業所開設のお知らせ」を発表。
(不整脈事業の強化のため、群馬営業所と八王子営業所を開設)
- 11月 2008年3月期中間決算を**発表**。
「平成20年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」を発表。
(1株当たり期末配当金予想を前回予想の48円から50円に増額修正)
- 2008年1月 **「株式分割および行使価格の調整に関するお知らせ」**を発表。
(1株を2株に株式分割。基準日は2008年3月31日、効力発生日は同年4月1日)
- 3月 **「平成20年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」**を発表。
(1株当たり期末配当金予想を前回予想の50円から60円に増額修正)
- 5月 「九州営業所開設のお知らせ」を発表。
2008年3月期決算を**発表**。

08/3期 決算概況(全体損益)

(百万円、%)

	07/3通期		08/3通期	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	9,911	+25.0	11,740	+18.5
売上総利益	2,240	+13.2	2,558	+14.2
販売費及び一般管理費	1,875	+14.8	2,098	+11.9
営業利益	364	+5.5	459	+26.1
経常利益	364	+11.6	420	+15.4
当期純利益	193	+10.1	236	+21.9

Point①: 前年比2桁の増収・増益を確保。売上、利益ともに期初予想をクリアー。

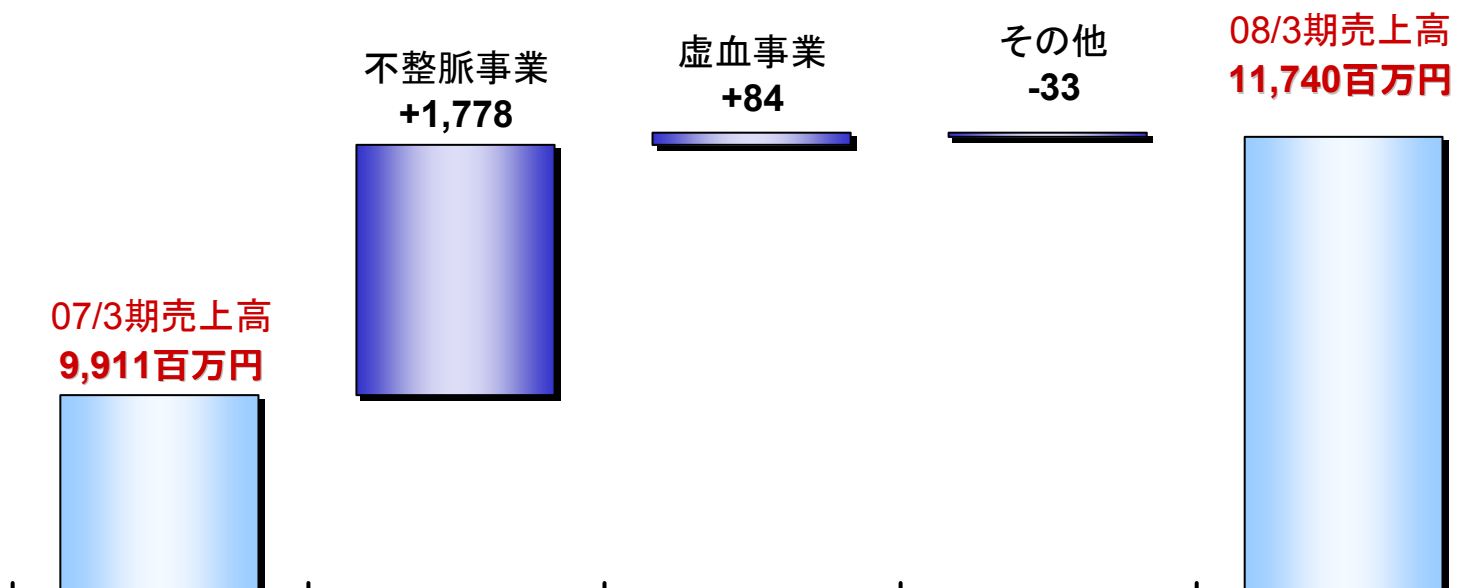
Point②: 不整脈商品の拡販と販管費管理により、営業利益は前年比+26.1%増。

✓経常利益は前年比+15.4%にとどまったが、為替差損等の影響によるもの。

08/3期 決算概況(事業区分別)

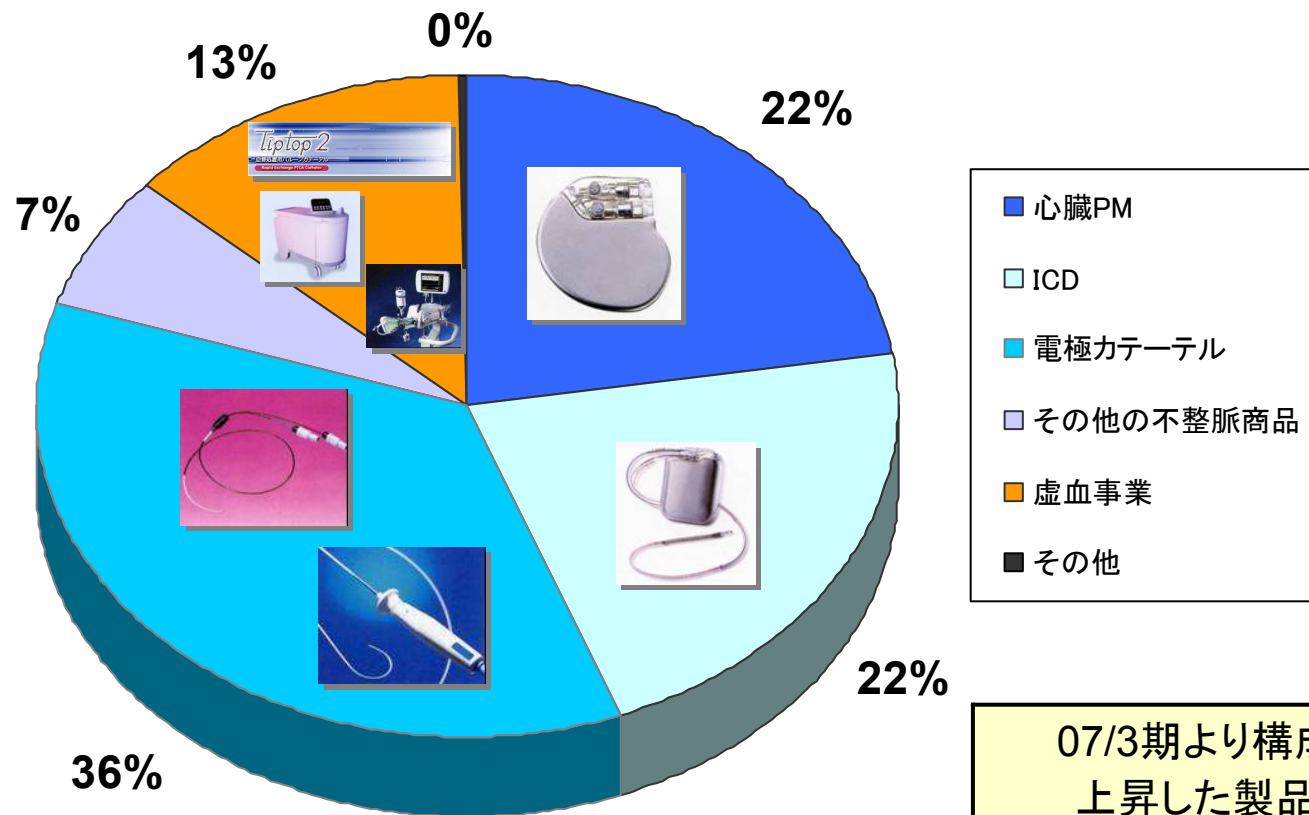
(百万円、%)

	07/3通期		08/3通期	
	金額	増減率	金額	増減率
不 整 脈 事 業	8,389	+25.2	10,167	+21.2
虚 血 事 業	1,461	+23.0	1,545	+5.8
そ の 他	60	+53.2	27	-54.8
合 計	9,911	+25.0	11,740	+18.5



08/3期 売上構成と07/3期からの変化

売上高 11,740百万円



07/3期より構成比率が
上昇した製品(事業)

- ①ICD
- ②電極カテーテル

09/3期 業績予想(全体損益)

(百万円、%)

	08/3通期	09/3通期(予想)		09/3上期(予想)	
		金額	増減率	金額	増減率
売上高	11,740	13,356	+13.8	6,568	+17.4
営業利益	459	460	+0.1	166	+1.8
経常利益	420	450	+7.2	161	+16.8
当期純利益	236	245	+3.7	88	+12.3

Point①: 保険償還価格改定の影響はあるが、売上成長の持続を図る。

✓不整脈事業の成長持続、虚血事業のエキシマレーザの本格導入等

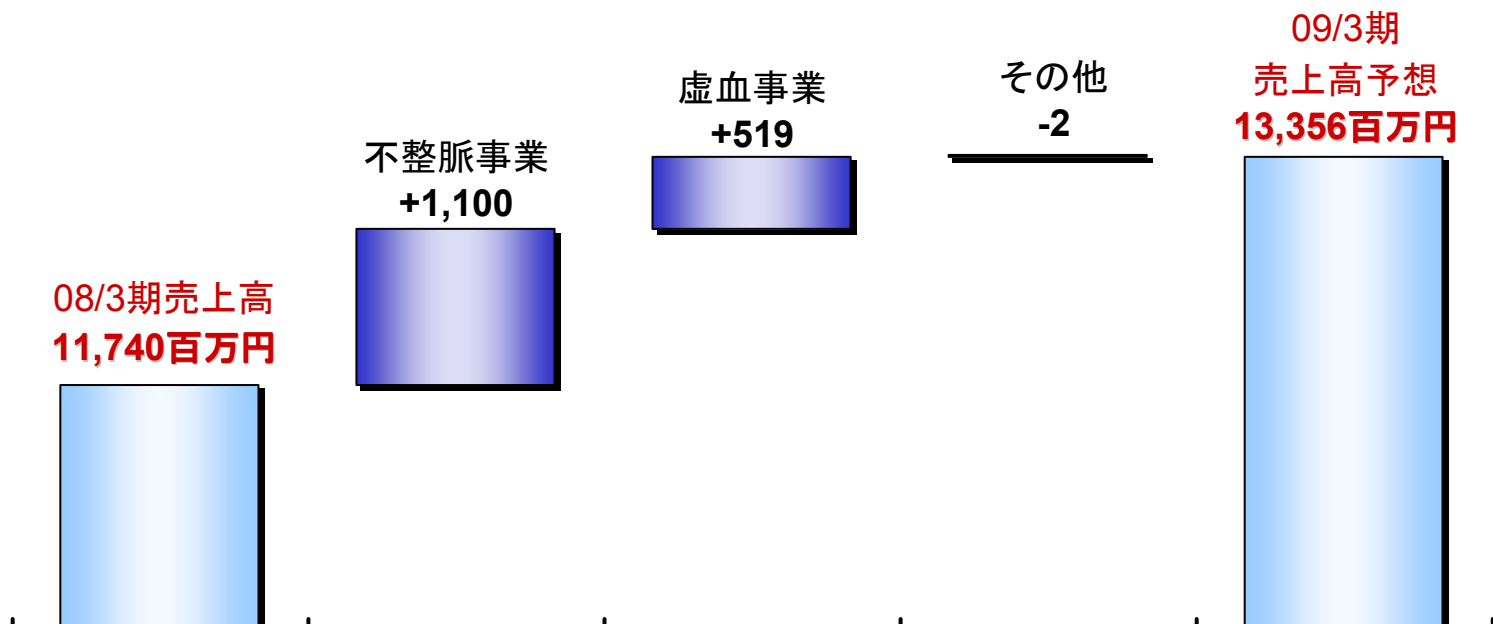
Point②: 営業利益は、売上成長を持続させ、前年実績以上を確保。

✓経常利益は前年の一過性の減益要因がなくなり、前年比+7.2%増。

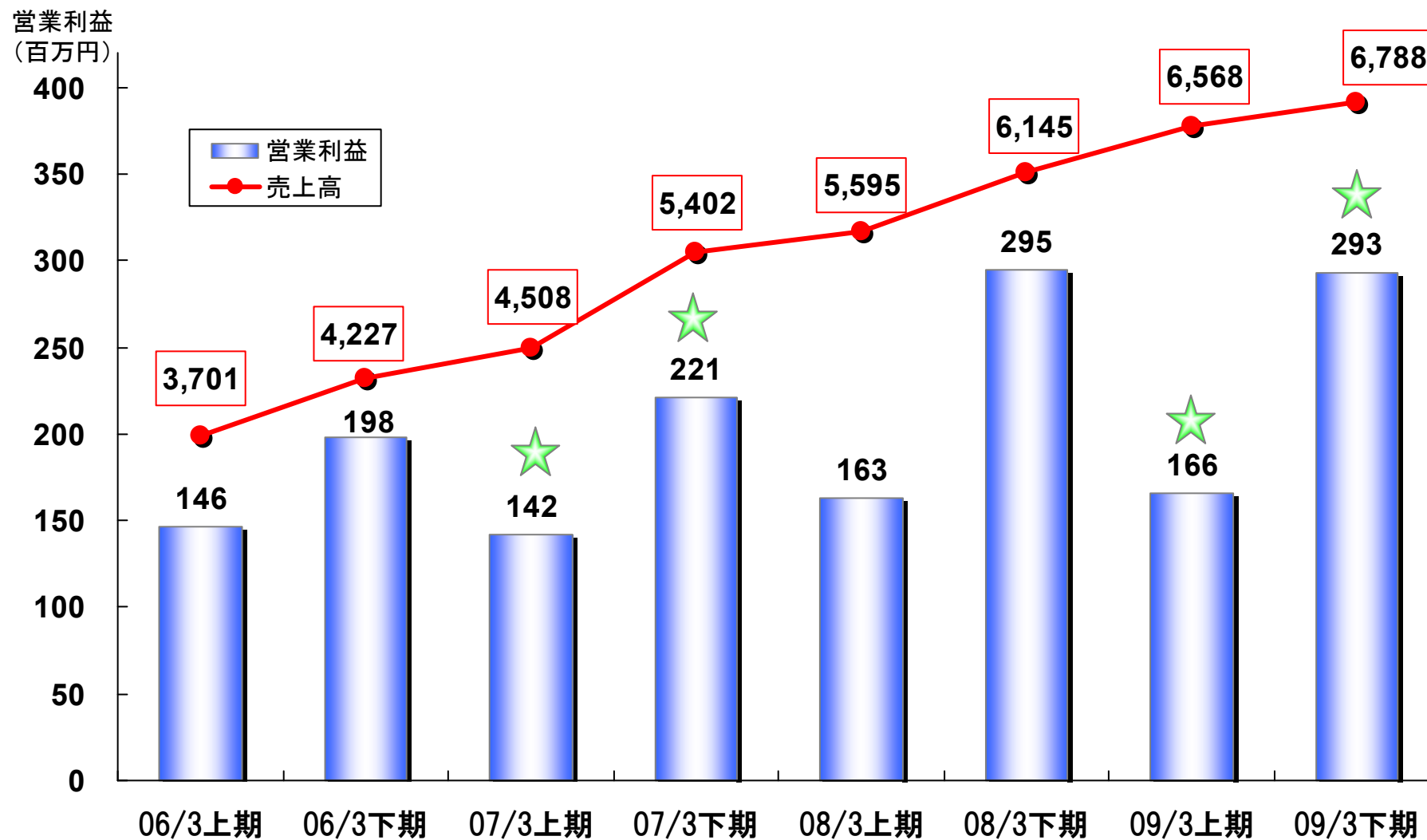
09/3期 業績予想(事業区分別)

(百万円、%)

	08/3通期	09/3通期(予想)		ご参考:09/3上期(予想)	
		金額	増減率	金額	増減率
不整脈事業	10,167	11,267	+10.8	5,547	+13.4
虚血事業	1,545	2,064	+33.5	1,006	+45.9
その他	27	25	-7.4	14	+2.0
合計	11,740	13,356	+13.8	6,568	+17.4



業績推移(実績及び09/3期予想)



★ 保険償還価格改定

← 当社予想 →

I

会社概要

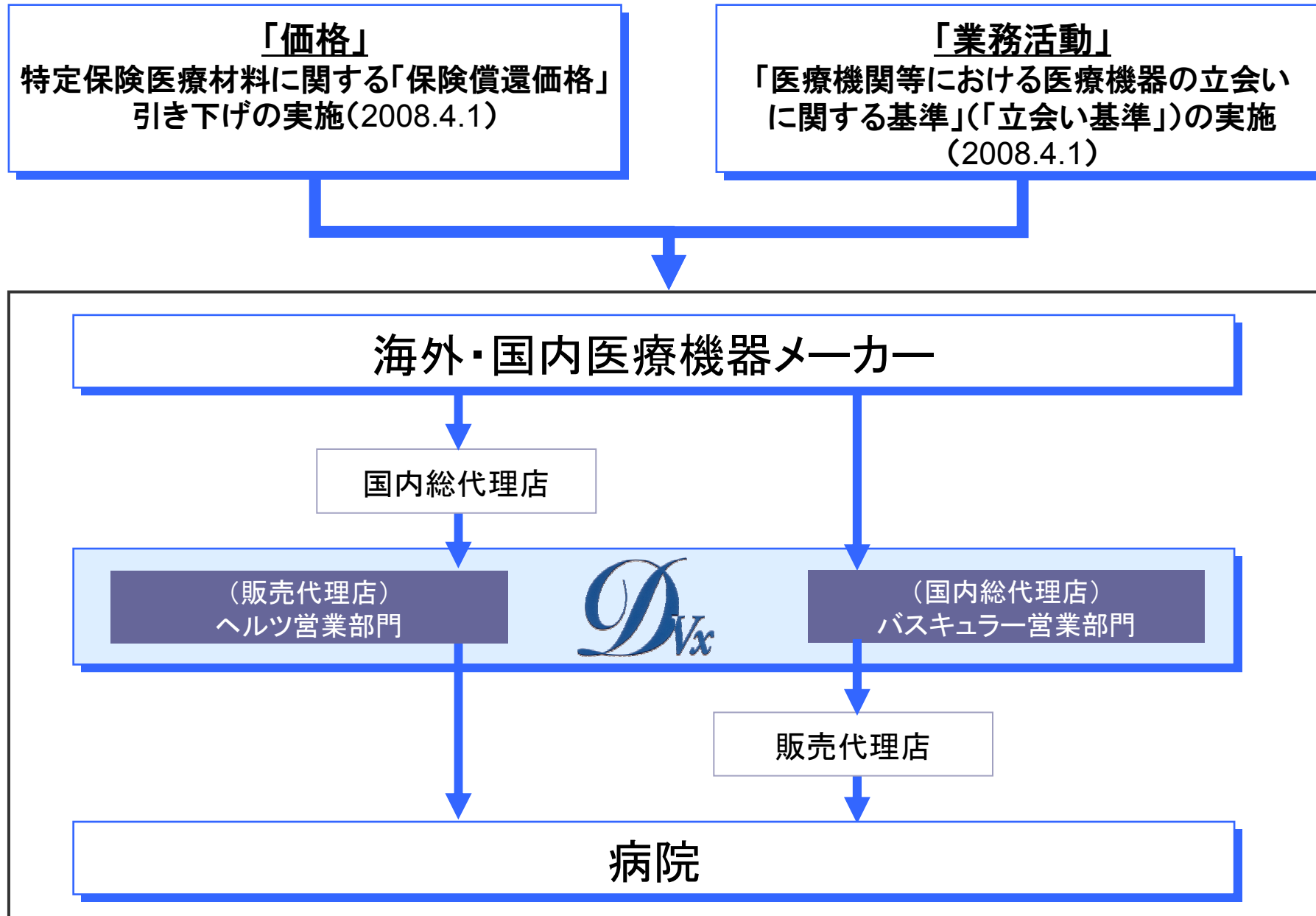
II

決算(実績と予想)

III

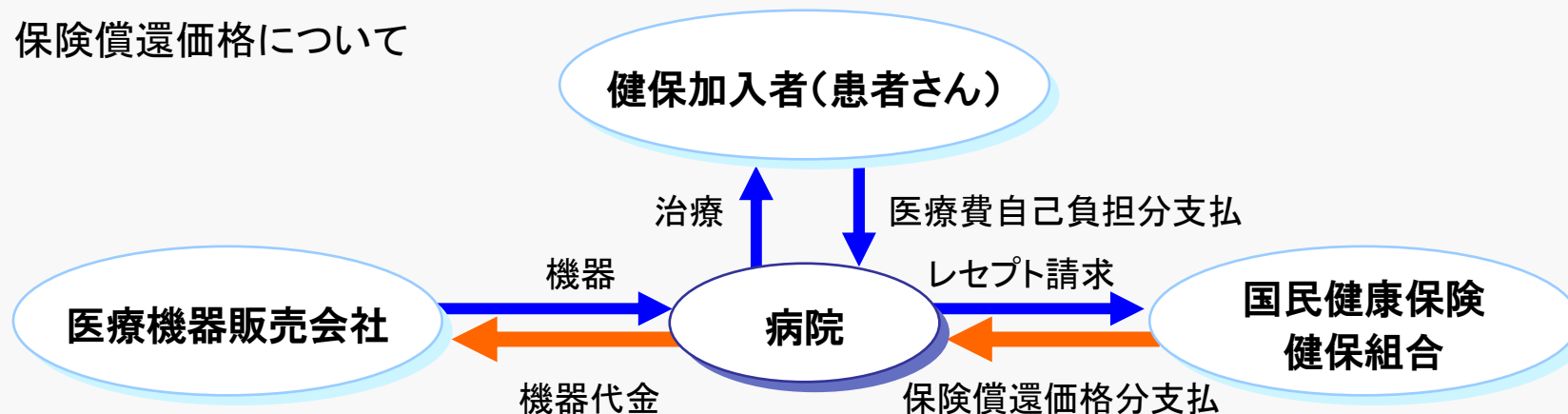
医療機器販売業界の変化と対応

当社を取り巻く事業環境(09/3期)



「保険償還価格」の改定とその影響

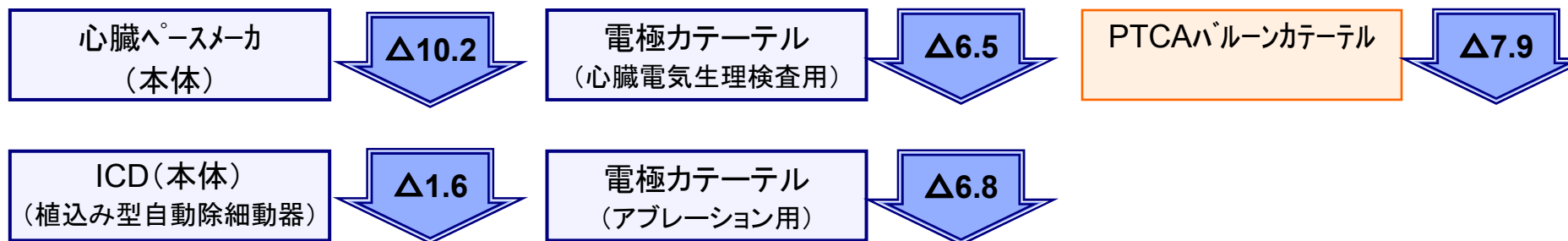
保険償還価格について



特定医療材料の保険償還価格改定(例)

2006/4改定価格⇒2008/4改定価格*

(単位: %)



*: 表示している価格改定率は、同一カテゴリ内の複数材料の価格改定率の単純平均値。

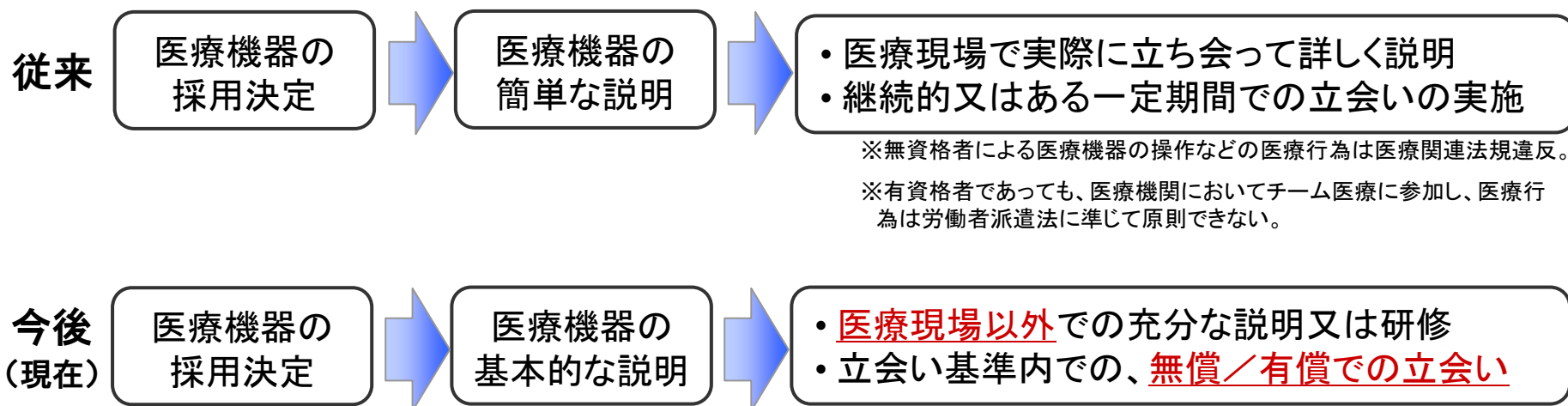
「立会い基準」とその影響

〔立会の定義〕

ここでいう「立会い」とは、医療機関等の管理下にある患者に対して、医師等の医療担当者が診断や治療を行うに当たり、事業者がその医療現場に立ち入り、医療機器に関する情報提供や便益労務の提供を行うことをいう。

ただし、在宅医療については、事業者が医療担当者、在宅患者等に対して医療機器の使用・操作方法等の情報提供や便益労務の提供を行うことをいう。

〔医療機器販売活動の変化(イメージ)〕

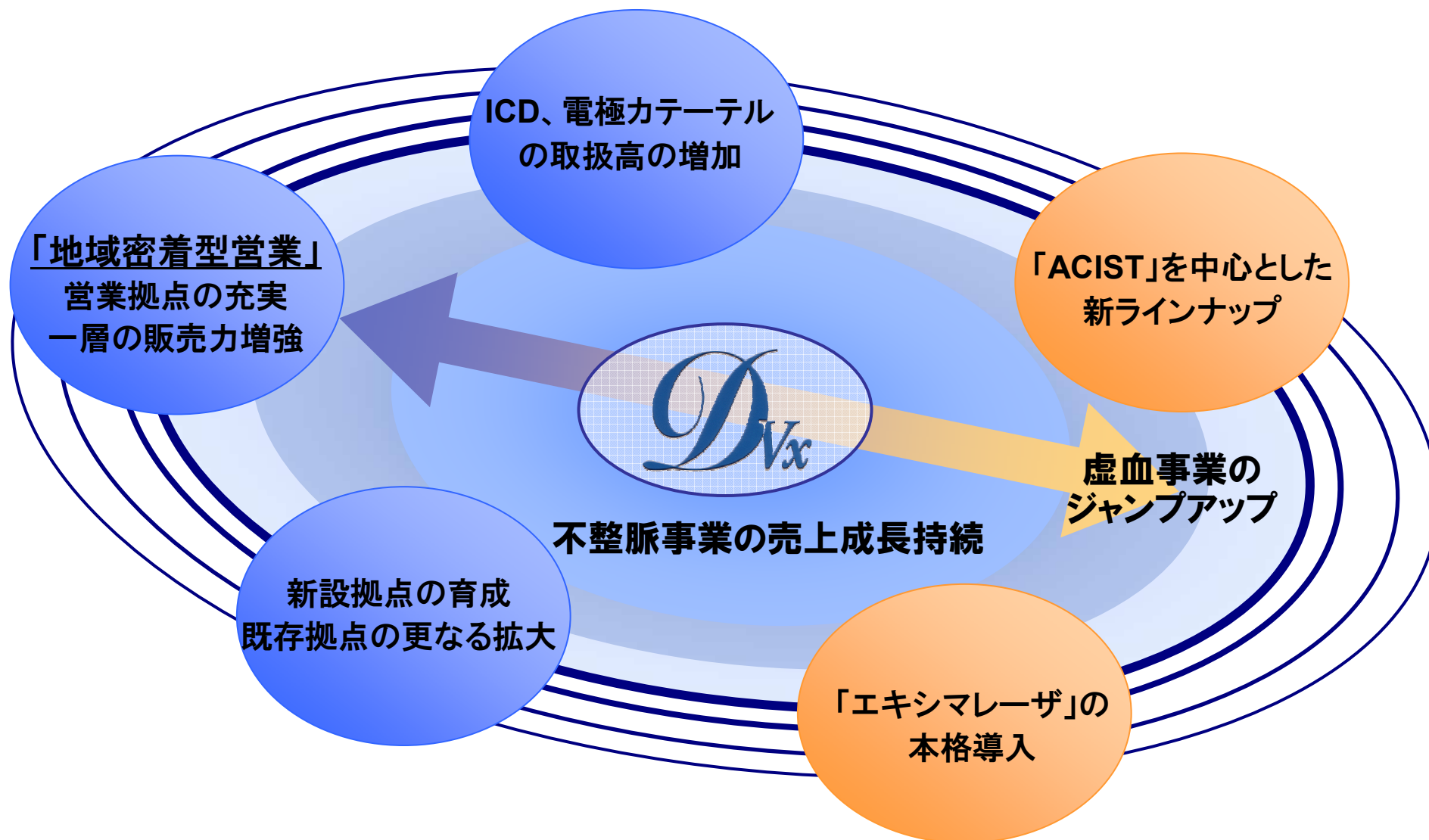


立会い基準に則った立会いは実施可能(⇒基準の明確化)

補足①: 医療機器業公正競争規約第3条において「医療機関等に対して医療機器の選択又は購入を誘引する手段として無償で提供する医療機器、便益労務等」が禁止されている。

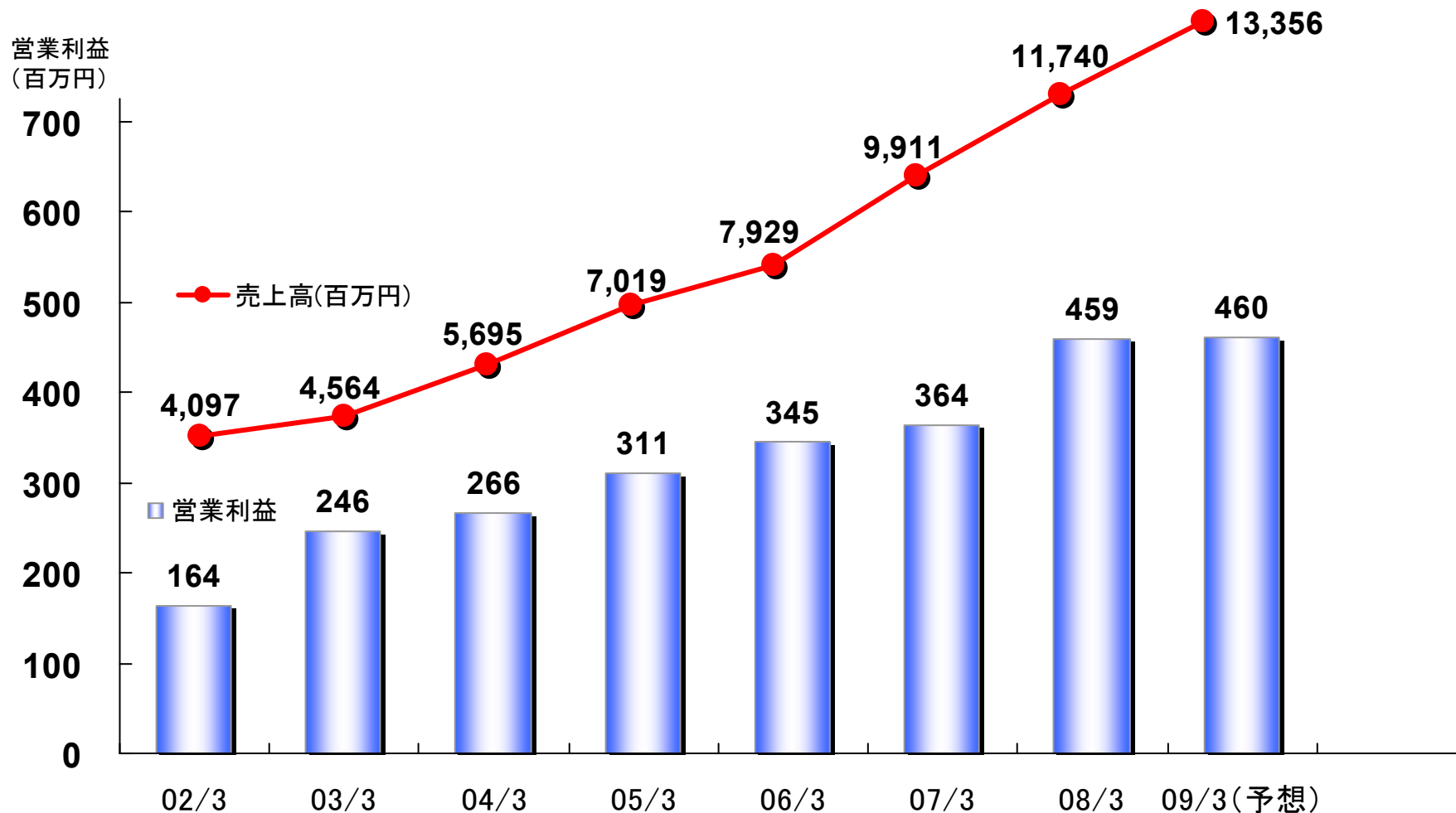
補足②: 公正競争規約とは、景品表示法(第12条)に基づいて公正取引委員会の認定を受けて、業界が設定したルールのこと。

当社の対応方針(09/3期)



09/3期の収益目標

逆風下においても、売上成長の持続を果たし、収益を確保



(注1) 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

(注2) 05/3期には、2004年2月1日付のディーブイエックスジャパン株式会社との合併による売上高等の増加の影響が含まれています。

株主還元の方針(09/3期)

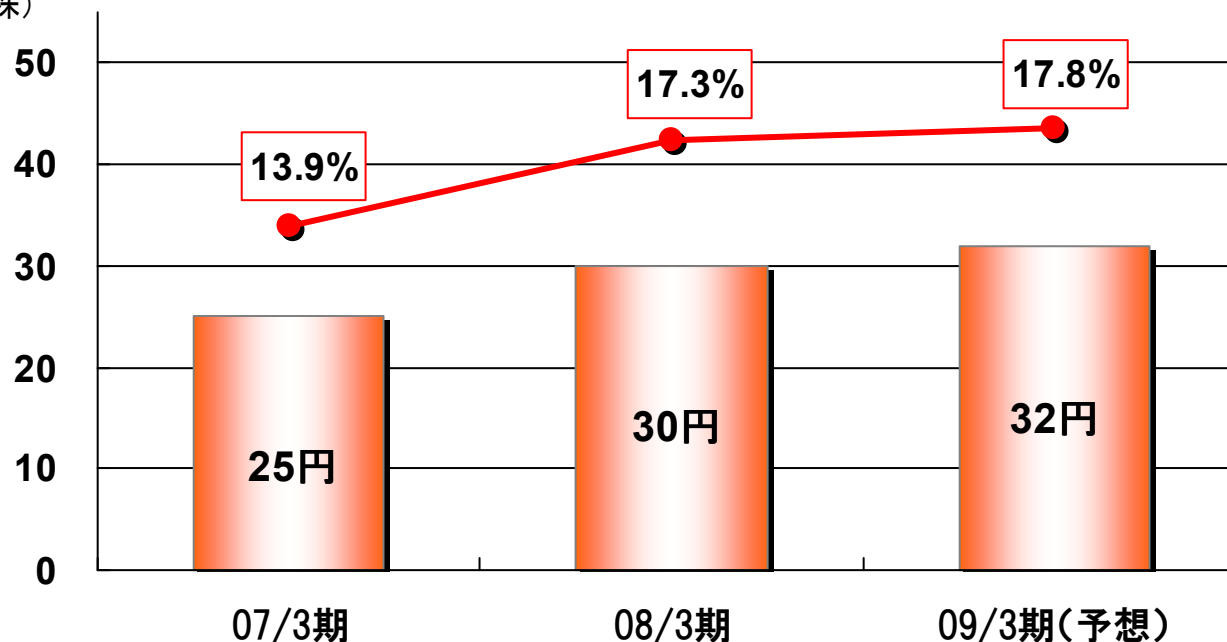
期末配当金32円／株を予想。実質増配。

	07/3期	08/3期	09/3期(予想)
1株当たり配当金	50.00	60.00	32.00
1株当たり当期純利益	360.35	354.35	180.09

2008年4月1日を効力発生日として1:2の株式分割を実施

1株当たり配当金
(円／株)

1株当たり配当金の推移(株式分割の影響を遡及修正)



1株当たり年間配当金

配当性向



**Development
Venture**

xー「未知数」「無限の可能性」

ディーブイエックス株式会社 (DVx Inc.)

本資料における注記事項

- ◆ 本資料は投資家の参考に資するため、ディービエックス株式会社(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。
- ◆ 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

- ◆ 本資料ならびにIR関係についてのお問い合わせ先

IR・広報室長 田島 恵美子 TEL:03-5985-6827 FAX:03-5985-6106

URL <http://www.dvx.jp/>